

全国国立大学病院・公立大学病院救急部協議会

平成21年2月10日 於 札幌

全国国公立大学医学部における 救急医学卒前教育に関するアンケート

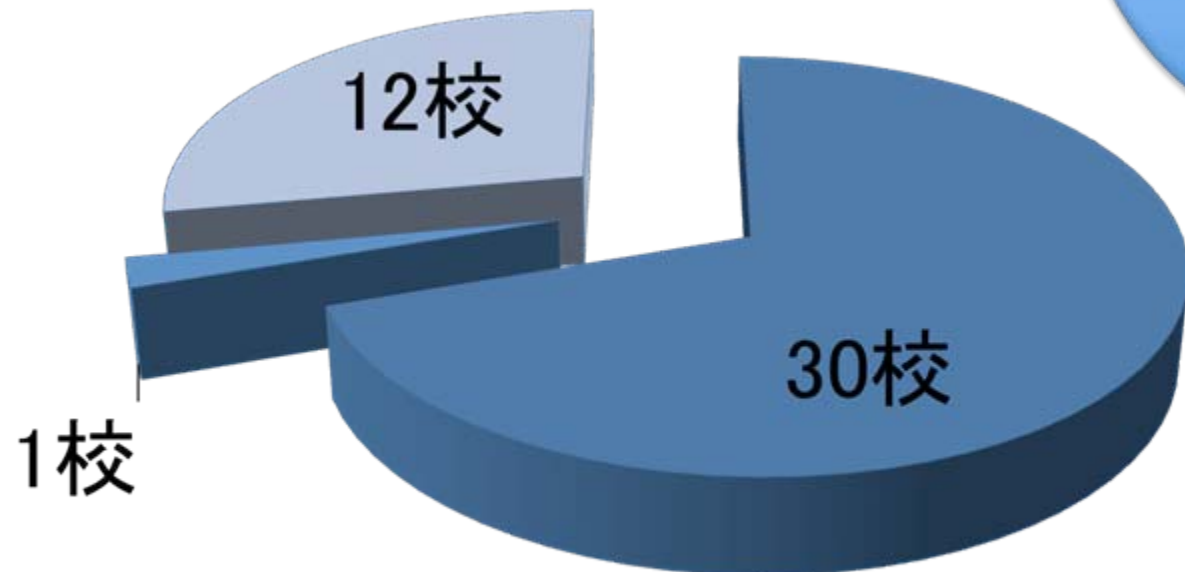
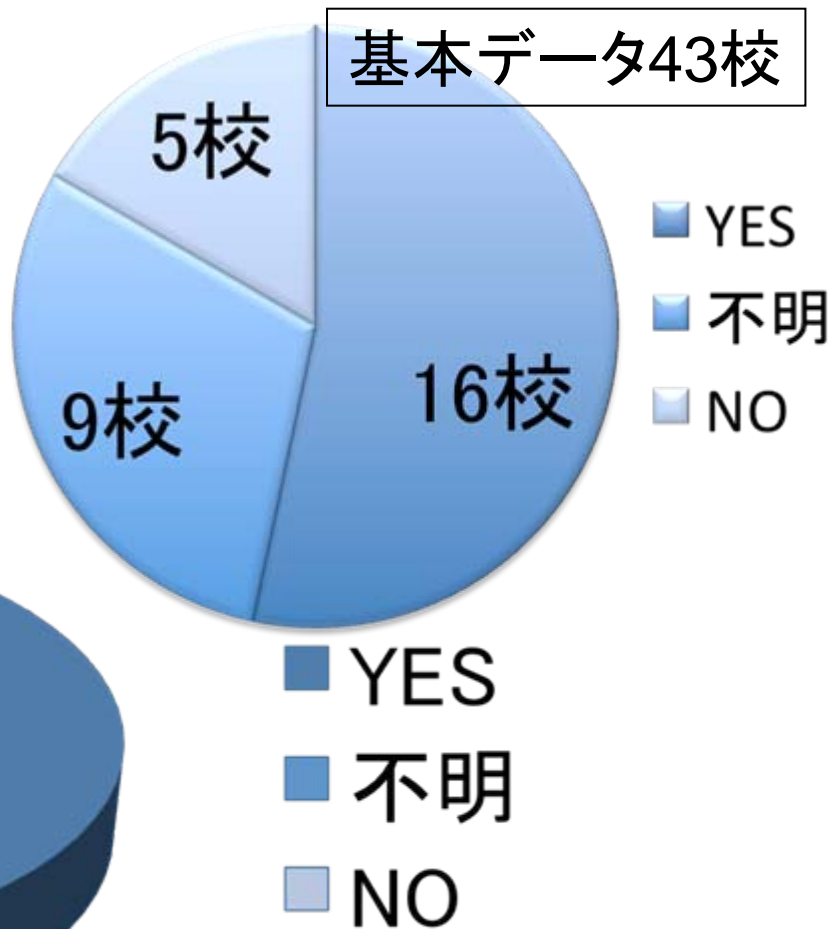
京都大学

小池 薫

- ・回答: 53大学中 (国立42 / 公立11)
43大学 (回収率81.1%)

→ 以下、回答43大学を母数とする

・チュートリアルについて

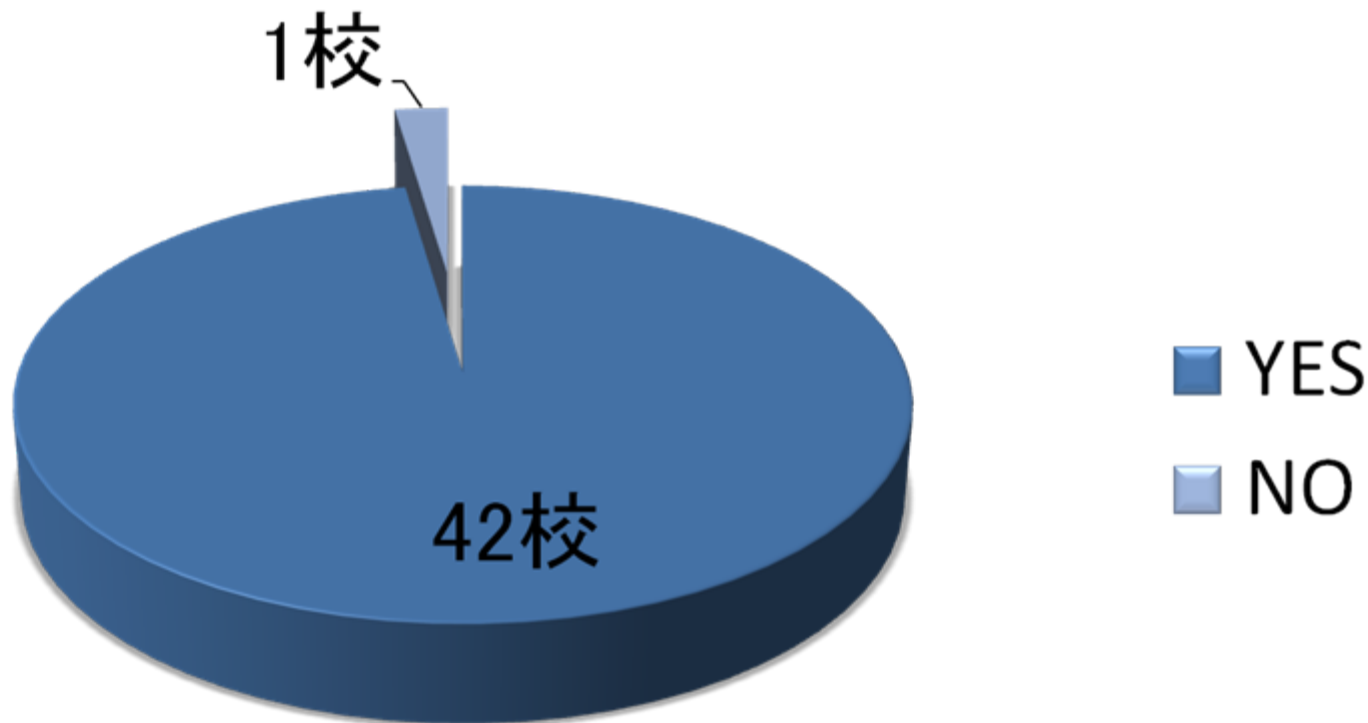


実施している大学: 30大学 (69.8%)

自科が担当している: 16大学 (37.2%)

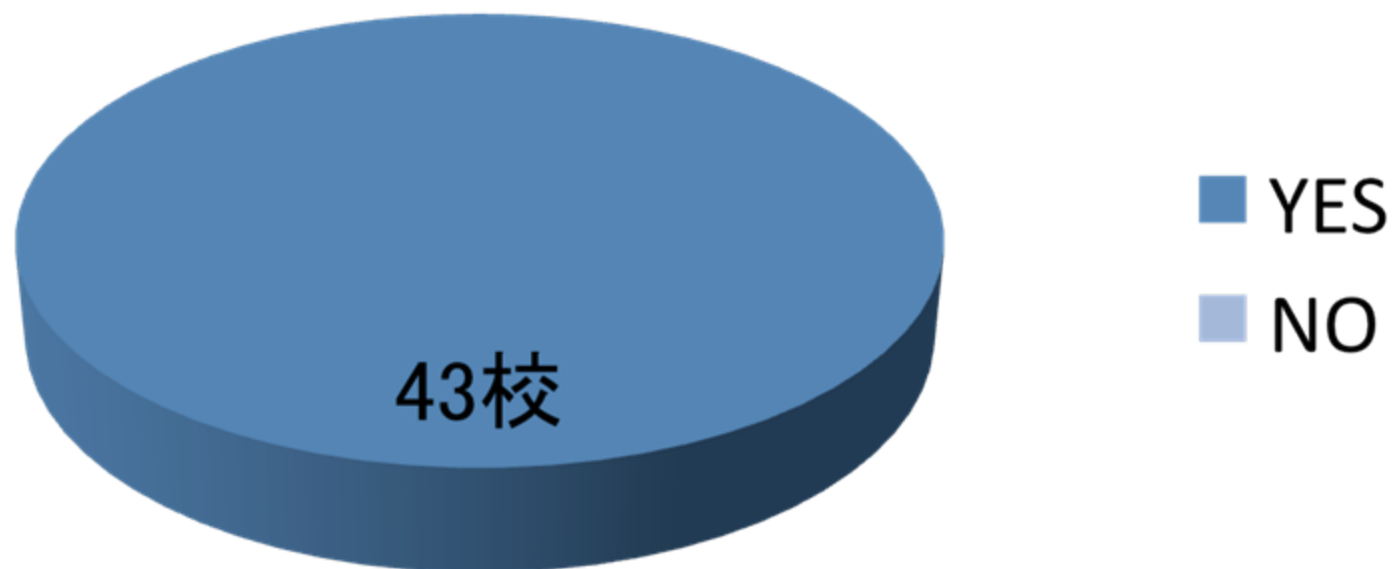
基本データ43校

・系統講義について



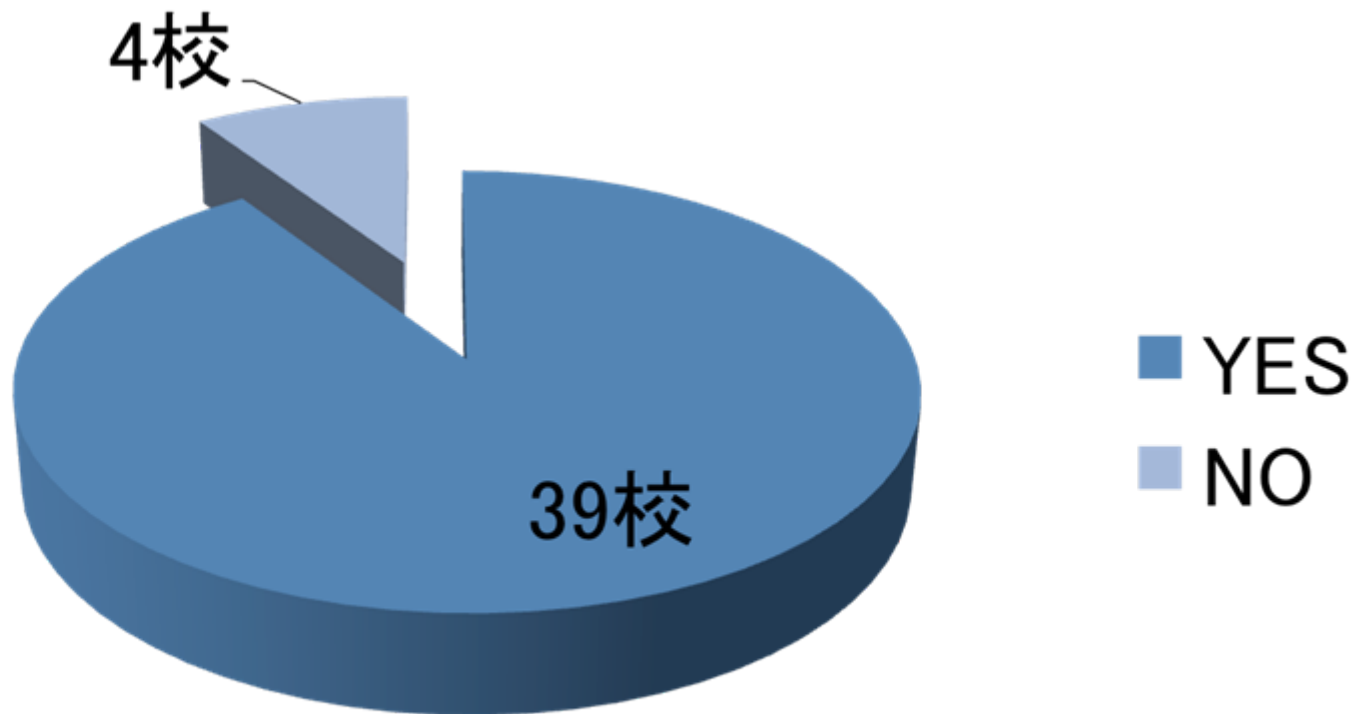
担当している: 42大学 (97.7%)

- 臨床実習（ローテーション実習、ポリクリ、ベッドサイドティーチング）について



担当している：43大学（100%）

・選択実習（エレクトィヴ実習）について



受け入れている：39大学（90.7%）

・講座名／部門名について

基本データ43校

救急	42
救命	16
集中治療	14
災害	7
侵襲	2
麻酔	1
蘇生	1
総合診療	1

参考

高度救命C	8
救命救急C	7
なし	28

系統講義 講義コマ数

	コマ数平均	分布	中央値
総コマ数	12.6コマ	1～28コマ	12コマ
救急	9.4コマ	1～28コマ	8.5コマ
集中治療	1.0コマ	0～6コマ	0コマ

1コマあたり(分)

1コマ90～100分	30校	71%
1コマ75分	2校	5%
1コマ50～60分	10校	24%

20コマ以上	7校
15コマ以上	16校
10コマ以上	26校

系統講義 講義時間(分)

	総時間平均	分布	中央値
総時間(分)	1014分	90～2520分	953分
救急	776分	90～2520分	720分
集中治療	72分	0～450分	0分

麻酔、症候学、外科、総合診療、その他

* チュートリアルは含まず

* その他の実習は含む

(系統講義に計上されているBLSや災害訓練等)

→42校中、シラバス送付・記載あり:35校

救急医学系統講義 講義内容

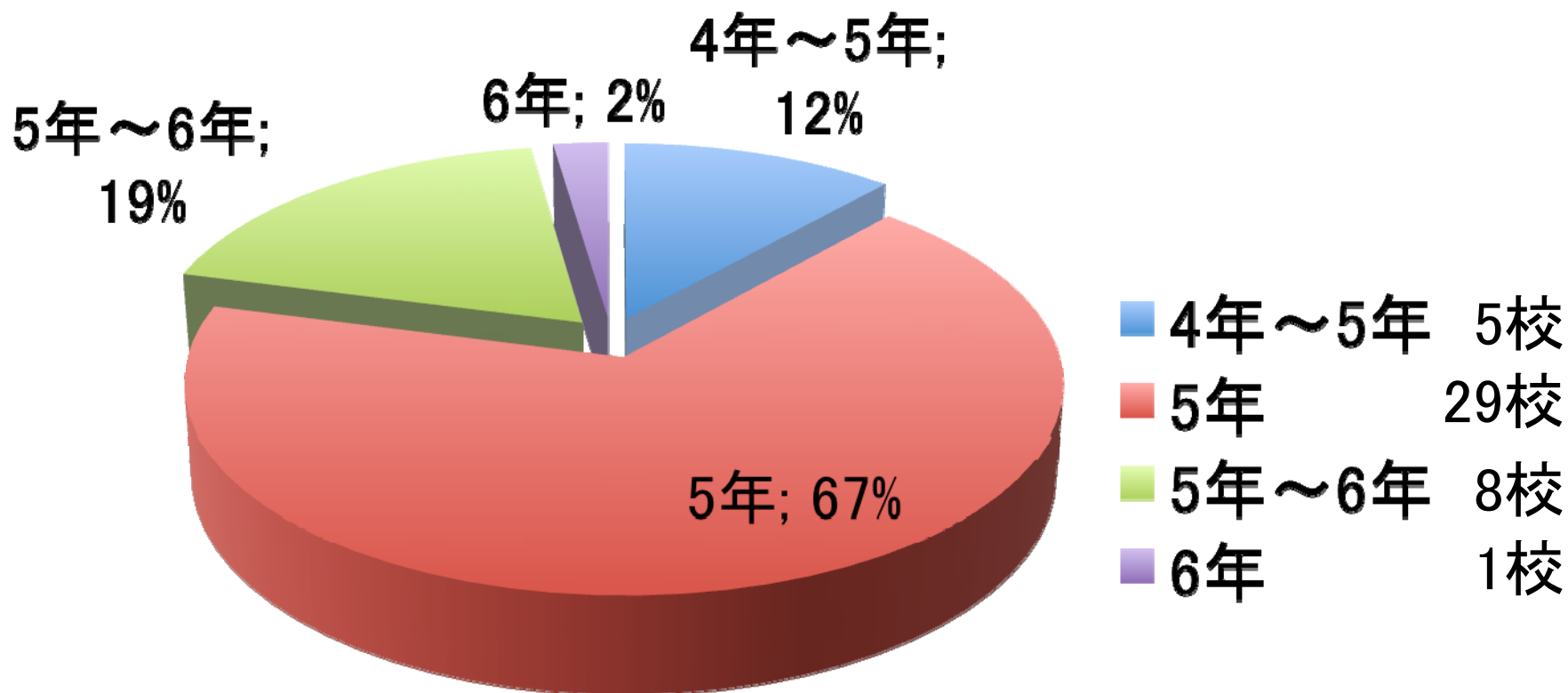
外傷初療	28 (80.0%)
災害	26 (74.3%)
中毒	26 (74.3%)
心肺蘇生	24 (68.6%)
救急総論	19 (54.3%)
熱傷	18 (51.4%)

ショック	17 (48.6%)
呼吸不全	16 (45.7%)
環境	16 (45.7%)
病院前体制	10 (28.6%)
JPTEC	5 (14.3%)
脳死/移植	3 (8.6%)

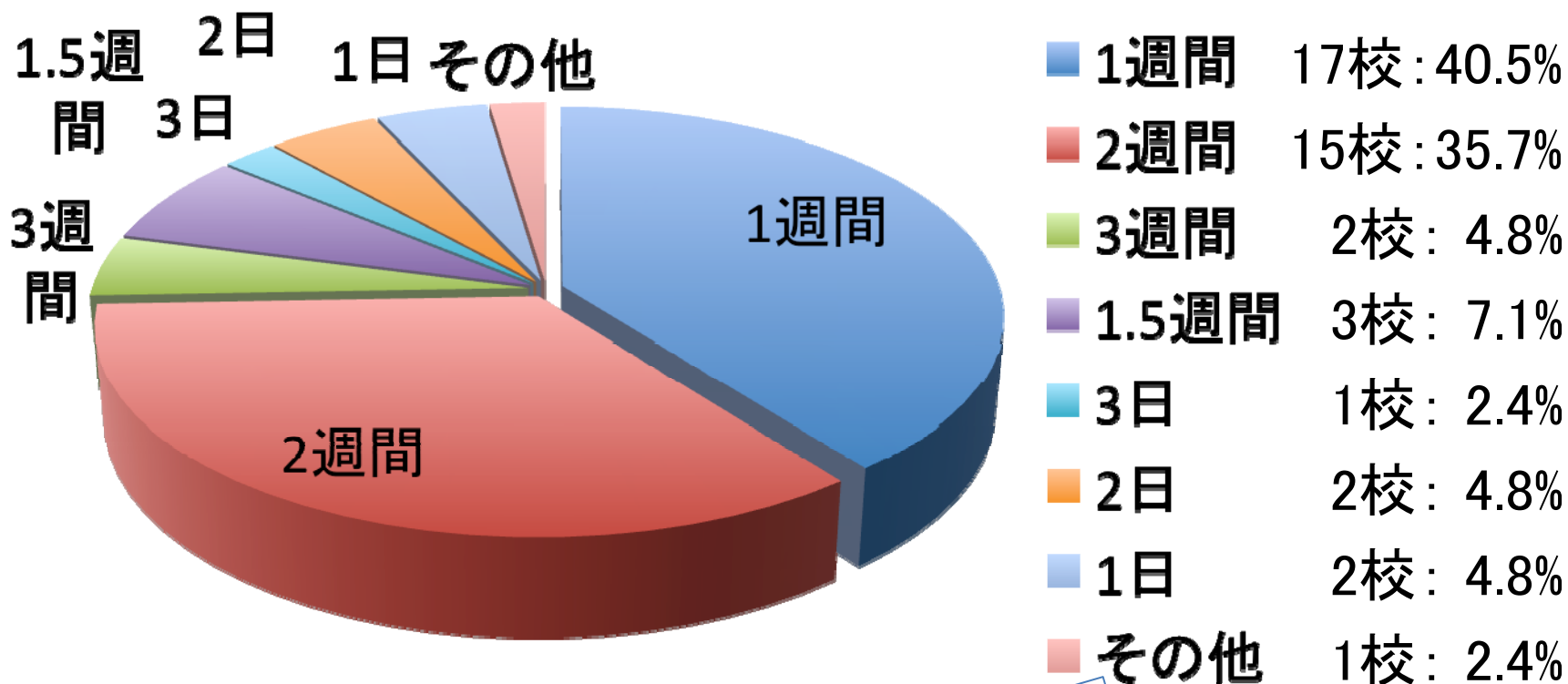
学生教育に関する工夫 (具体的記載のあったもの)

- 入学直後にBLS実習 : 11校 (25.6%)
- 臨床実習時以外に救急車同乗 : 6校 (14.0%)
 - うち、入学直後に救急車同乗 : 4校 (9.3%)
- 災害訓練への参加 : 6校 (14.0%)
 - 模擬患者、トリアージ訓練

臨床実習（ローテーション実習、ポリクリ、 ベッドサイドティーチング）実施時期



救急臨床実習（ローテーション実習、ポリクリ、 ベッドサイドティーチング）実施期間

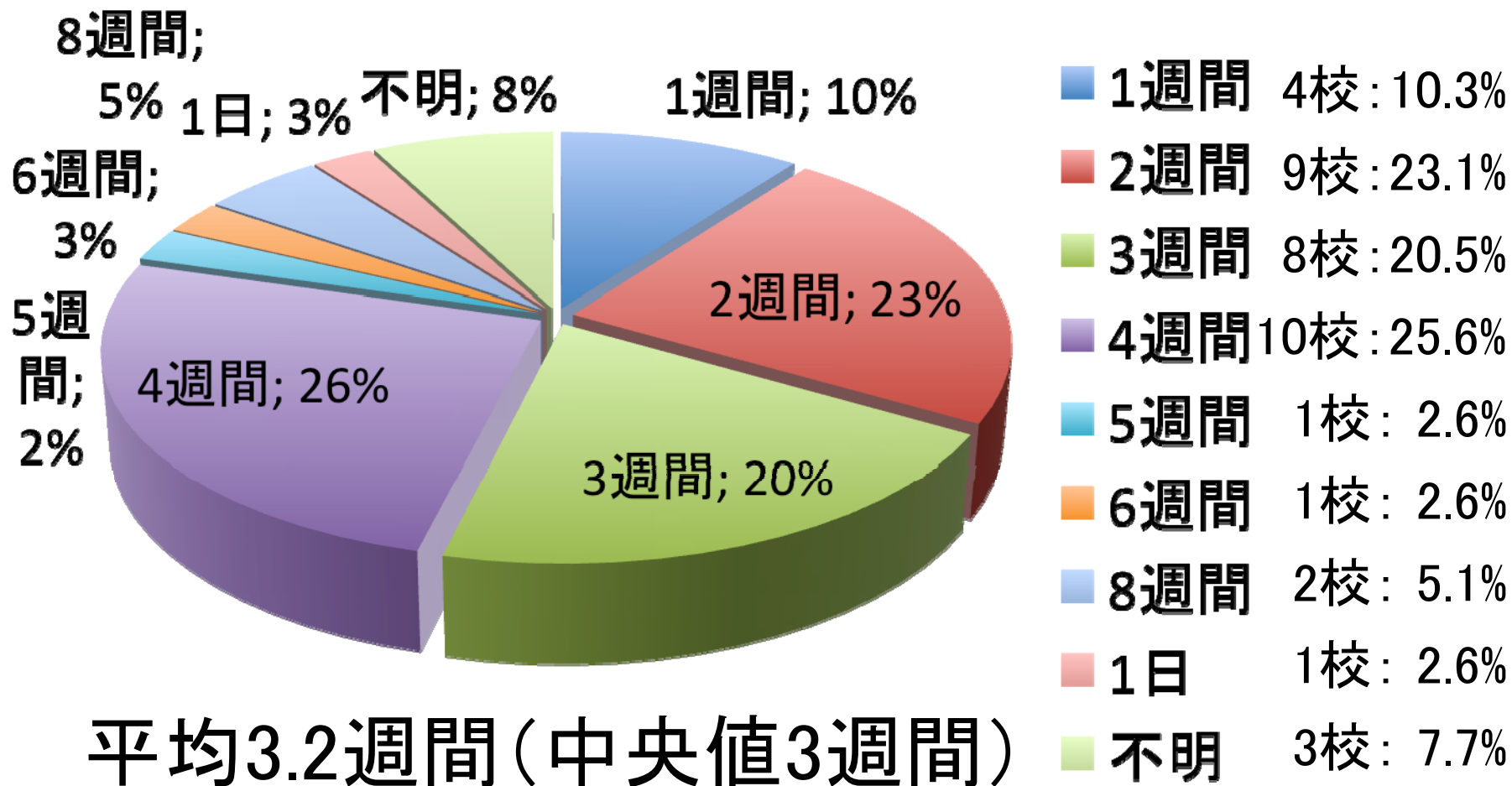


救急ローテーションは無く、全期間を通じて救急夜間当直2回

救急臨床実習期間：平均9.7日（中央値1週間）

- 大学病院で何らかの実習：42校（100%）
- 市中病院での実習：15校（35.7%）
→内2校は、大学か市中病院か選択
- 消防での実習：28校（66.7%）
→救急車同乗実習は意味なし、との意見1校
- 他大学での実習：0校（0%）

救急選択実習（エレクトィヴ実習）実施期間



救急実習期間中のシミュレーション教育

	BLS	ALS	JPTEC	JATEC
臨床実習 ローテーション (43校)	37校 (86.0%)	30校 (69.8%)	18校 (40.9%)	24校 (55.8%)
選択実習 エレクトィヴ (39校)	22校 (56.4%)	22校 (56.4%)	15校 (38.5%)	18校 (46.2%)

* 他に行われている具体的なトレーニング内容

◎気道管理 ◎中心静脈穿刺

- 2年次にBLS、4年次にエマルゴ。
- 1年、5年で救急車同乗、実習で防災ヘリ。
- 1年、4年でBLS実習、4、5年希望者にICLS。
- 教育に対するインセンティブがなすすぎる。
- 2年次にトリアージ訓練。
- 全学の1年生に年間4コマ授業。

- 4年生時にPTLS実習済み。
- 学生による学生のためのBLS。
- 2週間あるポリクリの2週目は研修医同等。
- 1年次に病院ボランティア。
- 入学直後に救急車同乗。
- Tutrialで災害・外傷。

- 1年生にBLS+AED実習。
- 3年次に救急車同乗。
- 主治医グループの1人として実習。
- 災害医療の同好会あり。
- 1年と5年に救急車同乗実習。
- 1年の希望者、5年は全員に救急車同乗実習。

- 学生にはBLSだけで手一杯。ALSは卒後でない
とできない。
- 系統講義は現状のコマ数では充分ではなく、
もう少し増やして欲しい。
- スタッフの数に余裕が無く、本来はもう少し
教育（系統講義、エレクトィヴ、チュートリアル
など）に力を入れたいが、それができない。
- 10年前と比べれば、救急医学の教育は
飛躍的に充実したと言えるか。

- 今後、日本救急医学会総会での発表や日本救急医学会雑誌への報告を考えています。
- より充実したデータとするため、未回答の大学には、後日ご協力をお願いさせていただきます。